

2025年6月号

四万十図書館だより

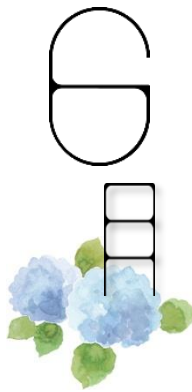
発行＊四万十市立図書館

雨に映える紫陽花の美しい季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。
長雨で外に出られない日は、図書館で読書でもいかがですか？
6月29日（日）には、しまんとぴあ りぐるホールにて、四万十市出身の歌人岡本真帆さんの講演会を行います。皆さまお誘いあわせの上、ぜひお越しください。
7月2日（水）～7月4日（金）は、図書館システムの更新のため、休館します。
ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

6月図書館情報

本館 岡本真帆 講演会

日時：6月29日（日）
13：30～15：30
場所：四万十市総合文化センター
しまんとぴあ りぐるホール
※入場料無料、事前申込不要
※詳細はホームページ
またはお電話でご確認ください



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

→休館日

一般展示

「あお・みどり」

雨の水と植物から連想される「青」と「緑」の色に関する本を展示しています。

場所：一般展示コーナー

特集展示

「読書感想文おたすけ展示」

読書感想文におすすめの本を展示しています。

場所：小学生の部…児童郷土棚

中高生の部…OPAC 付近

児童展示

「あめ、ふれ、ふれ」

梅雨に合わせた雨に関する本を集め、展示しています。

場所：児童展示コーナー

ガラスケース展示

「市の施設・建物の移り変わり」

市制20周年を記念して、自治体の変遷に関連した写真展を図書館×生涯学習課合同で行っています。

場所：2階通路ガラスケース



新着本紹介



小説	『父の回数』 王谷 晶
『愛の獣は光の海で溺れ死ぬ』 金子 薫	『潮音 第4巻』 宮本 輝
『あの日、タワマンで君と』 森 晶磨	『ふたり腐れ』 櫛木 理宇
『ヴァンパイア・シュテン』 福田 和代	『普通の底』 月村 了衛
『嘘と隣人』 芦沢 央	『ミス・パーフェクトの憂鬱』 横関 大
『桜風堂夢ものがたり2』 村山 早紀	エッセイ
『温泉小説』 朝比奈 あすか	『生きる証し』 姜 尚中
『君が眠りにつくまえに』 水沢 秋生	『ないもの、あります』 クラフト・エヴィング商会
『月蝕島の信者たち』 渡辺 優	外国文学
『珈琲怪談』 恩田 陸	『フェアリー・テイル上・下』 スティーヴン・キング
『最悪の相棒』 伏尾 美紀	郷土
『成層圏の墓標』 上田 早夕里	『一心不乱』 本多 利治
『それいけ!平安部』 宮島 未奈	『悩める大人に贈る万葉集』 三宅 香帆
『ゾンビがいた季節』 須藤 古都離	『はじめての「外国人材受け入れプロジェクト」』 下茅 亮
『たのしい保育園』 滝口 悠生	『やなせたかし』 青山 誠
『団地メン!』 藤野 千夜	『落雷と祝福』 岡本 真帆

宗教	医学
『神仏習合-祀られる神度う仏-』 西山 隆	『こんなことで、死にたくなかった』 高木 徹也
『やさしい密教』 吉田 宏哲	『じゅわ〜っとゆるめるボディケア』 篠崎 アミ
歴史・伝記	『前立腺がん治療大全』 穎川 晋
『満洲帝国の真実と謎』	手芸
『物語のある中世ヨーロッパ解剖図鑑』 河原 温	『CHECK&STRIPE her closet』 CHECK&STRIPE
『「大和」特攻を率いた提督』 井川 聡	『手縫いでつくれることりのぬいぐるみ』 ばんばばえりあ
資格	料理
『定年後の仕事図鑑』 坂本 貴志	『梅干しは万能調味料』 ワタナベ マキ
『まるわかり!「司法書士」』 日本司法書士会連合会	『捨てないレシピ』 小嶋 絵美
自然科学	農林水産業
『暮らしと霧の科学』 井川 学	『農家が教えるニワトリの飼い方』 農文協
『じつは身近なホタルのはなし』 遊磨 正秀	芸術
『図説日本の洞窟』 狩野 彰宏	『石塔調べのコツとツボ』 藤澤 典彦 他
『トコトンやさしい光学の本』 笠原 亮介	『もっと知りたい国宝』 土屋 貴裕 他

四万十市立図書館 利用案内

開館時間・休館日 午前9時～午後7時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など
 貸出規則 図書10冊(2週間)／雑誌5冊(2週間)／DVD・ビデオ2点(2週間)
 定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日10時20分～／場所：おはなしの部屋)
 ※夕方・土日祝日駐車レーンを確保しています (守衛棟北側縦列駐車3台分)